

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県洲本市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	洲本市文化遺産活性化事業計画		【計画の改善時期】
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
本市の歴史文化遺産（地域の文化財）の掘り起こしと活用を行い、市内外への情報発信を行うことを通じ、次世代への継承と発展、故郷への愛着心の高揚、地域振興への寄与を目的に、下記の取り組みを行う。 1. 地域の文化遺産普及啓発事業			
6 実施体制			
洲本市教育委員会が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導的な役割を担う。また、補助事業は、次の団体が実施する。 洲本市文化遺産活性化実行委員会 構成団体（淡路地方史研究会、淡路いけばな協会、淡路考古学研究会、藤間流濃紫会、洲本市教育委員会）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 21,220 千円	平成30年度申請額： 789 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
市内の歴史・文化に対する関心、愛着、意識が向上し、地域の文化遺産の保存と次世代への継承が期待できる。また、活動を通じて特に子どもたちを中心とした若い世代が地域の歴史や文化遺産を知り、学ぶことで歴史文化への関心の向上にとどまらず、地域そのものに対する愛着心や誇りを持つことが期待できる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
見込みなし。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	洲本市教育委員会 生涯学習課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1：	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 1：	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標 1：	淡路文化史料館の年間入館者数	関連事業：	①		
目標値 1：	【現状値】 平成 28 年度 4,543 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 5,520 人				
設定根拠 1：	平成28年度から毎年度入館者数5%増に設定				
進捗状況 1：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
4,543 人	4,504 人	人	人	人	人
0%	-4%				

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：洲本市文化遺産活性化事業			実施団体：洲本市文化遺産活性化実行委員会		
事業区分：普及啓発		事業期間：平成 23 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：		洲本市の歴史文化遺産（地域の文化財）の掘り起こしと活用を行い、市内外への情報発信を行うことを通じ、次世代への継承と発展、故郷への愛着心の高揚、地域振興への寄与を目的に、地域の文化遺産普及啓発事業を行う。			
評価指標区分：		・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）		（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：		地域の文化遺産イベントにおける協力団体数			
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 15 団体 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 30 団体			
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率			
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
15 団体	19 団体	団体	団体	団体	団体
0%	27%				